平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月27日

上場会社名　八千代工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7298　URL　http://www.yachiyo-ind.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 加藤　正彰
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部副本部長 経理部長　(氏名) 北村　哲也　TEL 04-2955-1211

四半期報告書提出予定日　平成23年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	51,724	△34.9	414	△79.9	618	△67.7	△456	―
23年3月期第1四半期	79,505	45.6	2,060	―	1,911	―	818	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　282百万円　(△82.3%)　23年3月期第1四半期　1,591百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△18.99	―
23年3月期第1四半期	34.09	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	115,817	36,776	27.9
23年3月期	113,605	36,733	28.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　32,265百万円　23年3月期　32,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		10.00	―	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	△30.2	△800	―	△800	―	△2,500	―	△104.11
通期	250,000	△17.9	2,700	△55.5	2,500	△55.9	△1,000	―	△41.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	24,042,700 株	23年3月期	24,042,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	29,043 株	23年3月期	29,013 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	24,013,663 株	23年3月期1Q	24,013,766 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。
なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．連結財務諸表等 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の経済状況は、世界各地で原油高などの影響が懸念されるなか、国内の景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、設備投資や個人消費は下げ止まりつつあるなど、このところ上向きの動きがみられるようになりました。一方、海外においては、米国の景気は、失業率が高止まりしており、景気回復は緩やかになっております。アジア諸国の景気は、中国やインドで拡大し、先行きも拡大傾向が続くと見込まれ、その他の国においても総じて景気は回復いたしました。また、欧州主要国の景気は、一部の国々における財政不安や高い失業率が継続することなどによる低迷が懸念されるものの、景気は総じて持ち直しております。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のＳ（営業）Ｅ（生産）Ｄ（製品開発）Ｂ（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成の強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるために、新たな機構や新材料などを活用した製品開発を強化するなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進いたしました。また、東日本大震災の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産への対応を図ってまいりました。

当第１四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産に伴う大幅な受注の減少などにより、517億２千４百万円と前年同期に比べ277億８千万円、34.9%の減収となりました。なお、主な海外連結子会社の第１四半期末は３月末日のため、当第１四半期連結累計期間における海外連結子会社に与える震災の影響は軽微であります。利益につきましては、アジアなどでの二輪部品の増収に伴う利益の増加、原価改善効果及び減価償却費の減少などはあったものの、国内における大幅な減収に伴う利益の減少及び研究開発費の増加などにより、経常利益は、６億１千８百万円と前年同期に比べ12億９千３百万円、67.7%の減益となりました。四半期純損失は、４億５千６百万円と前年同期の四半期純利益８億１千８百万円に比べ12億７千４百万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品及び自動車組立における大幅な受注の減少などにより、売上高は、263億９千８百万円と前年同期に比べ297億４百万円、52.9%の減収となり、経常損失は、８億６千２百万円と前年同期に比べ８億２千５百万円の減益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるヤチヨ　オブ　オンタリオ　マニュファクチュアリング　インコーポレーテッド（カナダ）及びヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）における受注の増加などにより、為替換算上の減少などはあったものの、売上高は、97億６千１百万円と前年同期に比べ６億８千８百万円、7.6%の増収となりました。経常損失は、新機種立ち上がり費用の増加やヤチヨ　ド　ブラジル　インダストリア　エ　コメルシオ　デ　ペサス　リミターダ（ブラジル）の操業準備費用などにより、１億８百万円と前年同期に比べ４億６千９百万円の減益となりました。

（中国）

中国においては、連結子会社である八千代工業（武漢）有限公司（中国）における受注の増加などはあったものの、為替換算上の減少などにより、売上高は、48億３千３百万円と前年同期に比べ７千２百万円、1.5%の減収となり、経常利益は、７億６千６百万円と前年同期に比べ５百万円、0.8%の増益となりました。

（アジア）

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム　ゴウシ　マニュファクチュアリング　カンパニー　リミテッド（タイ）及びゴウシ　タンロン　オートパーツ　カンパニー　リミテッド（ベトナム）における受注の増加などにより、為替換算上の減少などはあったものの、売上高は、107億３千万円と前年同期に比べ13億７百万円、13.9%の増収となり、経常利益は、９億１千４百万円と前年同期に比べ３千２百万円、3.6%の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、1,158億１千７百万円と前年度に比べ22億１千１百万円の増加となりました。

増加した要因は、現金及び預金の減少などがあったものの、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加、また、為替換算レート差による円換算額の増加などによるものであります。

負債合計は、790億４千１百万円と前年度に比べ21億６千９百万円の増加となりました。

増加した要因は、賞与引当金の減少などがあったものの、支払手形及び買掛金や長期借入金の増加、また、為替換算レート差による円換算額の増加などによるものであります。

純資産合計は、367億７千６百万円と前年度に比べ４千２百万円の増加となりました。

増加した要因は、利益剰余金の減少などがあったものの、為替換算レート差による為替換算調整勘定や少数株主持分が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、平成23年６月17日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．連結財務諸表等

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,722	7,590
受取手形及び売掛金	24,943	28,678
商品及び製品	1,173	1,140
仕掛品	1,820	2,177
原材料及び貯蔵品	4,354	4,875
その他	2,012	2,471
流動資産合計	45,027	46,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,170	42,670
機械装置及び運搬具	83,233	84,329
工具、器具及び備品	38,991	39,716
土地	18,220	18,240
建設仮勘定	4,589	5,215
減価償却累計額	△122,379	△124,955
有形固定資産合計	64,824	65,217
無形固定資産		
のれん	860	789
その他	388	389
無形固定資産合計	1,249	1,179
投資その他の資産	2,504	2,486
固定資産合計	68,578	68,883
資産合計	113,605	115,817

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,544	24,058
短期借入金	15,506	16,002
1年内返済予定の長期借入金	6,106	6,644
賞与引当金	2,490	1,252
その他	8,955	9,357
流動負債合計	55,603	57,314
固定負債		
長期借入金	15,127	15,415
退職給付引当金	4,933	5,146
その他	1,206	1,164
固定負債合計	21,268	21,727
負債合計	76,872	79,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	32,133	31,437
自己株式	△24	△24
株主資本合計	39,298	38,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	80
為替換算調整勘定	△6,952	△6,416
その他の包括利益累計額合計	△6,858	△6,336
少数株主持分	4,293	4,510
純資産合計	36,733	36,776
負債純資産合計	113,605	115,817

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	79,505	51,724
売上原価	74,507	48,030
売上総利益	4,997	3,694
販売費及び一般管理費	2,937	3,280
営業利益	2,060	414
営業外収益		
受取利息	18	55
固定資産賃貸料	25	25
助成金収入	12	215
その他	30	81
営業外収益合計	87	378
営業外費用		
支払利息	107	108
為替差損	122	60
その他	6	6
営業外費用合計	235	174
経常利益	1,911	618
特別利益		
固定資産売却益	12	57
特別利益合計	12	57
特別損失		
固定資産売却損	15	7
固定資産除却損	59	18
特別退職金	80	120
災害による損失	－	108
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39	－
その他	1	－
特別損失合計	196	254
税金等調整前四半期純利益	1,727	421
法人税等	648	657
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,079	△235
少数株主利益	260	220
四半期純利益又は四半期純損失（△）	818	△456

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,079	△235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△14
為替換算調整勘定	577	532
その他の包括利益合計	511	518
四半期包括利益	1,591	282
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,320	65
少数株主に係る四半期包括利益	270	216

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	56,103	9,072	4,906	9,423	―	79,505	―	79,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,000	102	2	33	―	2,139	(2,139)	―
計	58,103	9,175	4,908	9,457	―	81,644	(2,139)	79,505
セグメント利益（又はセグメント損失）	△36	360	760	882	△0	1,966	(54)	1,911

（注）１　セグメント利益の調整額△54百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,398	9,761	4,833	10,730	―	51,724	―	51,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,765	2	65	37	―	1,871	(1,871)	―
計	28,164	9,763	4,899	10,768	―	53,595	(1,871)	51,724
セグメント利益（又はセグメント損失）	△862	△108	766	914	3	712	(94)	618

（注）１　セグメント利益の調整額△94百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。